

令和5年度 事業報告書

公益財団法人がん研究振興財団

令和5年度 事業報告書

1. 研究助成事業

- (1) がん研究助成 (公募) 24,226千円
第56回がん研究助成審議会の審査を経て、次のとおり研究助成金を贈呈した。

一般課題 A	20名	(19,988千円)
一般課題 B	5名	(2,388千円)
一般課題 C	4名	(1,850千円)

- (2) 海外派遣研究助成 (公募) 1,440千円
がんに関する国際会議、国際学会への出席者8名に対し、海外旅費等の助成を行った。

2. 関係団体助成事業 1,000千円
UICC国内委員会の事業に対し、助成を行った。

3. 技術者研修助成事業 (公募) 400千円
がん看護等の知識・技術の向上を図るため、コメディカルスタッフの海外研修留学等2名に対し、海外旅費等の助成を行った。

4. 革新的がん医療実用化研究推進事業

- (1) がんになっても生きる希望を持てる事業 (HOPE 事業)
がんの本態解明の基礎研究から得られた成果を臨床に繋ぐ「トランスレーショナル・リサーチ (TR)」の若手研究者を育成するため、次の助成を行った。

若手研究者の戦略的育成事業

- (トランスレーショナル・リサーチ (TR) 研究奨励助成金) (公募)
3名 4,500千円

(2) 研究成果等普及啓発事業 14,260千円
がん研究の成果を国民にフィードバックする観点から、各種情報媒体を活用し普及啓発に努めた。

① がんサバイバーシップ研究成果発表会・セミナー (3,085千円)

テーマ「がんサバイバーの情報アクセス向上を目指して」

開催日 令和6年2月16日(金)

方法 国立がん研究センターセミナールームとオンラインによるハイブリッド開催

② がん研究シンポジウム開催 (2,624千円)

テーマ 「次世代の抗がん剤開発」

開催日 令和6年3月16日(土)

方法 国立がん研究センター研究棟1階大会議室とオンラインによるハイブリッド開催

③ がん関連パンフレットの作成配布 (8,551千円)

○ がんの統計2024 4千部

○ がんと告知された小児・AYA世代の方が
まず始めに手に取るパンフレット 5千部

○ がん治療前の食事のヒント 5千部

○ がんを防ぐための新12か条ハンドブック 10千部

○ がんターミナル期をご自宅で過ごす方の生活と食事 5千部

○ 知っておきたい放射線治療 10千部

○ 加仁51号 2千部

5. 多様化する情報ニーズに対応するためエビデンスに基づいた国民への薬物療法等の情報提供支援事業(がん情報提供支援事業)

23,766千円

科学的根拠に基づく情報を迅速に提供するため、臨床試験情報及び薬物療法プロトコール情報等に関する諸問題や個別目標に直接寄与するための事業を実施した。

(1) 患者本位の「がん情報サイト」追加公表

・全12領域の企業治験情報の登録公開を完了

(2) 患者本位の「がん情報サイト」総合検索情報システムを開設

・医療機関別治験情報の検索を可能とした。

・企業治験情報量の少ない領域や、検索が難しい分野の情報検索を容易にする

システムを導入した。

6. 広報活動事業（一般財団法人日本宝くじ協会助成事業） 28,903千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、自治体、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等に配布した。

（冊子名）

○ やさしいがんの知識

肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん 1,391千部

○ がん検診

1,620千部